

3.4.4 フロートとセンターブロック

要素をフロート（float）の左寄せで配置する場合は**pull-left**というクラスを適用します。同様に、**pull-right**というクラスを適用すると、要素を右寄せで配置することができます。float:leftまたはfloat:rightのCSSが指定された簡単なクラスですが、覚えておいて損はないでしょう。

また、フロートを解除するクラスとして**clearfix**というクラスも用意されています。このクラスは、子要素に指定されている回り込みを解除する書式として機能します。

以下は、pull-leftのクラスを使って画像を左寄せで配置し、以降の文章を右側に回り込ませた場合の例です。21～25行目の<div>～</div>にはclearfixのクラスが適用されているため、それ以降にあるp要素（26行目）は回り込みが解除されて配置されます。

▼sample344-01.html

```

:
18 <div class="container">          <!-- 全体を囲むコンテナ -->
19
20 <h1 class="page-header">フロートの指定</h1>
21 <div class="clearfix">
22   
23   <h3 style="margin-top:0">西洋の城</h3>
24   <p>軍事的な要塞もしくは貴族の住家………現存しています。</p>
25 </div>
26 <p>その中にはホテルとして利用されている城も………楽しめる場合もあります。</p>
27
28 </div>          <!-- 全体を囲むコンテナ -->
:

```

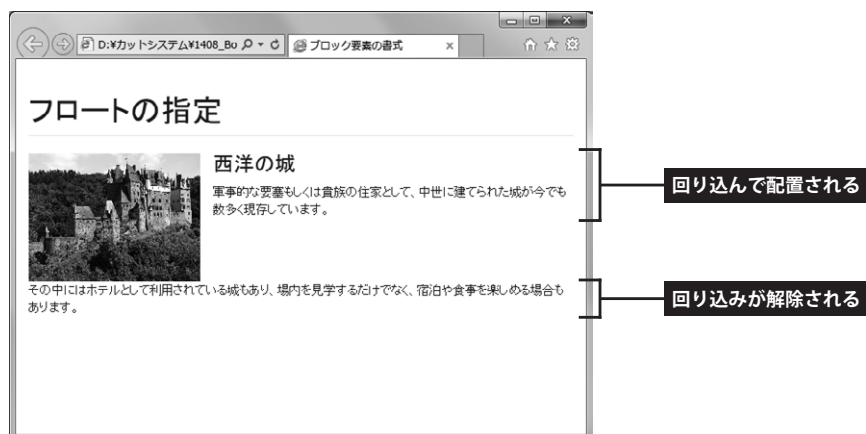


図3.4.4-1 左寄せを指定した画像

1

2

3

4

5

6

A